

事務事業名	下水道管渠維持管理事業		担当	上下水道部 下水道課 維持係	
政策名	5	「環境づくり」～安全なまちアップ!～	施策名	2	下水道事業の推進
成果指標	名称		単位	6 年度実績	
	有収率【真岡処理区】		%	91.2	
	【二宮処理区】		%	92.2	
	都市下水路排水面積		ha	308	
事業概要	快適で衛生的な生活環境の確保と、公共用水域の水質保全を目的とした公共下水道施設（水処理センターを除く）及び都市下水路施設の維持管理を行う。 ・公共下水道施設…汚水管渠、公共汚水樹、中継ポンプ、雨水管渠、雨水調整地など ・都市下水路施設…都市下水路、雨水調整池など				
6 年度 実績・成果・課題	・実績：【公共下水道】目視調査45.8km、TVカメラ調査3.1km、補修箇所30箇所 【都市下水路】管理委託3件、補修箇所3箇所、除草・清掃15件 ・成果：管路施設の現状把握に努め、必要に応じ補修や止水工事を行うなど、適切な維持管理に努め、有収率の向上を図った。 ・課題：施設の老朽化、移管及び新規整備等により管理対象施設が増加することに伴う維持管理費用の増額が懸念される。また、不明水は処理施設の負担や処理費用の増額につながるため、解消する必要がある。				
今後の方向性と 具体策	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 昭和54年5月の都市下水路の指定、及び昭和58年3月の公共下水道の供用開始以降施設の維持管理業務を実施しているが、令和8年度以降、管路施設の法定耐用年数である50年を超過する管渠が出現し、以降は法定耐用年数を超える施設が増加していくことから、施設を将来にわたり適切に管理していくため、令和元年度に策定した「真岡市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、中長期的な視点に立った維持管理を行っていく。 不明水については、主に汚水管渠からの侵入水が原因と考えられるため、TVカメラ調査等により管渠の状態を把握し、止水工事により解消していく。				